

中学校数学科グループ研究会

グループ員：長谷 慎一(北中学校) 菅 剛久(東中学校)
 中辻 紘生(西中学校) 松浦 信 (南中学校)
 増地 剛司(天王寺川中学校) 岡田 友昭(松崎中学校)
 谷本 浩一(荒牧中学校) 古谷 俊樹(笹原中学校)

担当指導主事：塩家 崇生

キーワード：全国学力・学習状況調査 数学的思考の「見える化」 指導力向上 ICTの活用 協同学習

1 研究テーマ

「活用する力を伸ばす授業の工夫」

基礎・基本の定着と数学的思考の「見える化」を目指して

2 研究内容

(1) 全国学力・学習状況調査結果分析に基づく授業改善

- ① アクティブ・ラーニングの研究
- ② ICTの活用研究
- ③ 学習環境作りと家庭学習の充実

(2) 数学科教員の資質向上

- ① 若手教員の育成
- ② 夏季研修
- ③ 先進校視察 報告

(3) 小中連携

- ① 研究授業における交流
- ② 入学前課題の実施
- ③ 新入生テストの作成

(4) 研究会の実施内容

- | | | |
|-----|--------|---|
| 第1回 | 5月26日 | 年間計画 市内全体会準備 全国学力・学習状況調査 |
| 第2回 | 7月12日 | 全体会総会で行ったグループ討議内容の確認
夏季研修会役割分担について
夏季研修内容確認 |
| 第3回 | 8月2日 | 伊丹市数学科夏季研修会
若手教員による模擬授業
全国算数・数学研究大会発表最終打ち合わせ
※8月8日 第99回全国算数・数学教育研究大会(和歌山大会)にて
伊丹市数学科グループ研究会研究内容発表 |
| 第4回 | 9月14日 | 全国学力・学習状況調査の関数単元で各校の結果交流
過去問題を解いて、今後の研究について協議
新学習指導要領の伝達講習の実施に向けて |
| 第5回 | 10月6日 | 模擬授業内容の確認(生徒の興味関心を引く関数単元の授業)
新学習指導要領の伝達講習会 |
| 第6回 | 11月24日 | 模擬授業を通して(振り返り・生徒アンケートの結果について)
新入生テストについて |
| 第7回 | 12月19日 | 模擬授業を通して(振り返り・生徒アンケートの結果について)
新入生テストについて(確認)
入学前課題について |

第8回	1月25日	今年度の研究まとめ 総会打ち合わせ
第9回	2月	新入生テスト最終打ち合わせ
第10回	3月	次年度に向けての準備

3 成果と課題

(1) 成果

- ① 今年度も伊丹市として「全国学力・学習状況調査」のA・B問題について全国平均を上回る結果を得た。昨年度からの課題であった生徒の苦手な単元である『関数』分野に焦点を絞り、市内8中学校でそれぞれ研究授業を行った。取組の中から「主体的・対話的で深い学び」についても問題提起がなされ、来年度へ向けた課題も共通理解できた。
- ② 今年度、全国算数・数学教育研究大会（和歌山大会）で、市内8中学校を2グループに分け、研究を行ってきた「ICTの利用」と「協同学習」についてのまとめを発表した。指導助言の先生より「市内がまとまってここまでの研究が行えていることが素晴らしい。」とお褒めの言葉をいただいた。
- ③ 新入生テストにおいて経年比較を視野に入れ、中学校に入学してくる児童の学力状況を測り、各学校において「本校1年生の算数での課題把握」から学力向上のための対策に生かすことができた。

(2) 課題

- ① 全国算数・数学教育研究大会（和歌山大会）での発表を経て、「協同学習」では効果的な課題の設定やホワイトボードを活用した発表の手法などについての課題が残る。また「ICTの利用」では、学校の環境整備が追いついていないことやそれらの機器に対して効果的な活用ができる教員が少ないといった課題も明らかになっている。今後は、模擬授業を取り入れるなどの研修方法の見直しや若手教員の研修の充実等を進めていく必要がある。
- ② 「全国学力・学習状況調査」では、今年度も伊丹市は全国平均を上回る結果であった。これは本市数学科としての研究の成果だと捉えている。しかし、『関数』分野においては全国を下回る結果であったので今年度より取組を開始している。その結果から8中学校で行った研究授業の成果を検証し、「深い学び合い」のできた授業を共有することで生徒の学力を高めていく必要がある。
- ③ 昨年度より若手教員の授業力向上を目指し、夏季研修会では模擬授業や日々の授業での悩み交流の場の設定などを行っている。取組後のアンケートでは「勉強になった。日々の授業の参考にしたい。」「同じような悩みを抱えている人がいることを知って勇気づけられた。」などの回答を得ている。しかし、現在学期に1度程度の交流しか行えていない。今後は計画的・定期的に行っていく必要がある。